

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	総合業界研究2	
科目基礎情報					
開設学科	音響芸術科	コース名	全コース	開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位			授業形態	講義
教科書/教材	なし				
担当教員情報					
担当教員	佐倉 繁	実務経験の有無・職種	有 作曲家		
学習目的					
この科目では音楽制作の全体像や成り立ちを理解し、それらの情報を自らのキャリアデザインに活用することを目的とします。講義の中では様々な音楽業について紹介するとどまらず、そこから学生独自の視点で音楽制作を立体的に再構築し、自身の就職活動、進路選択に活用出来る人材の育成を目指す。					
到達目標					
自分の進路、将来の就業、についての展望を形成することを目標とする。講義の中では音楽制作に関する研究テーマを与え、それについてのレポートを制作する過程において、自身の就業に対する考え方を整理し発展させることを目標とする。また、制作したレポートに基づいて、プレゼンテーションを行い他者に対して表現する能力を育成する。					
教育方法等					
授業概要	PCによる投影プロジェクション、映像資料閲覧、ゲストスピーカーの招聘などを通して、板書や話だけでなくビジュアルとして印象に残る授業を行う。レポートとして制作した研究テーマに沿ってプレゼンテーションの準備、実践を行う。				
注意点	ノート記録に加えて「情報の再構築」（手作業またはデジタル機器の活用）を必須とする。 前回の修得項目の復習、次回の授業に向けての「リサーチ項目」「事前準備項目」の確認。 版書に留まらず、講師の話の内容や気づいた点をノートに記す習慣を1年次に確立する。 授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	0%			
	小テスト	0%			
	レポート	50%	研究テーマを与えそれに対するレポートを提出し評価		
	成果発表 (口頭・実技)	0%			
	平常点	50%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	前期の授業の振り返り	後期の授業の流れについて			
2回	コンテンツ発信者として	コンテンツを取り扱う発信者としての取り組み			
3回	コンテンツの権利	著作権について1 ～著作権の背景、経緯～			
4回	コンテンツの権利	著作権について2 ～これからの時代の知的財産権～			
5回	デジタルコンテンツのコピーライト	～ネットワーク上の著作物～アップロード、ダウンロードコンテンツの利便性と注意点			
6回	デジタルコンテンツのコピーライト	～音楽編：サンプリングテクノロジー～ 複製の必要性とリスク			
7回	グループプレゼンテーションに向けて1	～プレゼンテーションとは？～			
8回	グループプレゼンテーションに向けて2	～視覚情報の構成について～			
9回	グループプレゼンテーションに向けて3	～提示順序 時間軸 について～			
10回	グループプレゼンテーションに向けて4	～目標点の設定～			
11回	グループプレゼンテーションに向けて5	～データ作成の留意点と情報共有について～			
12回	プレゼンテーションの準備	～資料の作成手順～			
13回	グループプレゼンテーション1	資料を交えての実践			
14回	グループプレゼンテーション2	資料を交えての実践			
15回	総評および今後の展開について	今後の修正点と次年度へのスキルアップについて			